

(様式1)

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 051	提案機関名 普及指導部
<b>要望問題名</b> 生産品目別の適切な環境制御技術を組み合わせた省エネ生産技術の確立	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 燃油高騰は施設園芸生産者の経営を圧迫し、円安の影響もあり今後も改善の見通しはたたない。近年施設花き生産ではヒートポンプの導入や株元加温、CO <sub>2</sub> 施肥、EODヒーティングに代表される変温管理技術の開発など、省エネ生産に向けた各種技術が開発されている。これらの技術は特定の作目の個別の技術として普及しているが、複数の技術を組み合わせた、生産作目に応じた、より効果的な省エネ高品質生産技術の確立が期待される。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術所    ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	果樹花き研究課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 花きの省エネルギー・低コスト栽培システムの開発		
<b>対応の内容等</b>	現在、バラ栽培については、株元加温とCO <sub>2</sub> 施肥の効果、株元LED照射を組み合わせ、品質及び収量への影響について調査しています。花壇苗については、一部品目についてEOD-heatingの効果について試験を行っていましたが、品目が少ないことから、H26年度は春期出荷のビンカ、ペチュニア、マリーゴールドで早期開花・早期出荷による栽培期間短縮が可能となるEOD-heating条件を検討します。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			